

発行日 平成22年2月25日
発行所 特定非営利活動法人
フードコミュニティ目黒
〒153-0065
東京都目黒区中町2-11-5
TEL : 03--5768-0707
FAX : 03-5768-0717
E-mail : okowa-fc.meguro@nifty.com

2010年2月
第3号

「スマイルプラザ中央町」での活動に期待しています

目黒区健康福祉部長 小笠原 行伸

フードコミュニティ目黒の皆様には、日頃から目黒区の障害福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

フードコミュニティ目黒の事業活動も4年目に入りました。この間にはさまざまなことがあったと存じますが、着実に事業を伸ばしてこられたことに敬意を表します。一日のプログラムを通して、利用者の生活リズムを作り、弁当・おこわの製造・販売や商品の封入などの受注作業を通じて、利用者の就労に重点を置いた事業運営がされてきました。日ごとの事業活動の積み重ねにより、フードコミュニティ目黒が地域に定着してきていると感じています。

さて、この4月には、フードコミュニティ目黒が入所予定の旧第六中学校施設を改修した「スマイルプラザ中央町」が開設します。この施設に来るみんなが笑顔になるようにとの願いを込めて、施設の愛称を決めました。スマイルプラザ中央町には、目黒障害者就労支援センター、障害者就労移行支援事業を行うフードコミュニティ目黒、しいの実社、ブレス及びSUN、地域活動支援センターセサミ、障害児放課後活動事業を行うびりいぶ、中央町児童館、中央町児童館学童保育クラブが入ります。

フードコミュニティ目黒のこの施設への移転は5月ごろと聞いていますので、移転と新施設での事業運営が円滑に行えるよう準備をしていただきたいと思います。そして、新施設での事業運営に当たっては、他の事業者との連携も期待しております。

目黒区は、平成22年度も障害者の就労支援事業を含むさまざまな障害福祉事業を実施してまいります。目黒区の障害福祉の充実は、私ども行政だけでできるものではありません。皆様のご協力をいただきながら進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

最後に、フードコミュニティ目黒の利用者と職員の方々のご健康と事業所の発展を期待しております。



みんな作業に集中!



フードコミュニティ目黒の今後に向けて

フードコミュニティ目黒理事長 渥美昭美

5月始めに「スマイルプラザ中央町」に移転します。新しい施設に成りますので利用者はとっても楽しみにしている様です。

お蔭様で目黒区様には大変感謝申し上げます。

新施設の厨房は300食近い食数のお弁当製造が可能に成ります。

FC目黒の理念第1の「障害者が地域で自立し社会参加の促進を図る」に向けて、昨年は一名が企業就労しまして、現在は10名の利用者と職員、理事、顧問共々一般市場に流通する商品作りを心がけてスーパー4ヶ所（ザ・ガーデン 白金店・目黒店・自由が丘店・丸正 大橋店）に毎日おこわを納品し、毎週月曜日には目黒区役所にてお萩販売もしています。また、昼食日替わり弁当を目黒区役所・ハローワーク・地域の企業、地域の各種会合時のお弁当もお届けし、作業所に於いてもすべての商品の販売も行っております。

今後の事業計画は配食サービスを受ける事とお弁当販売が出来る店舗等も考えて行きたいと思っています。

東京都就労訓練設備等整備事業費で車輛費、カラープリンターと周辺機器の購入費を頂く事に決まりました。車輛が2台になると配達もスムーズに成りだいたいぶ楽になります。カラープリンターと周辺機器ではスーパーに納品しているおこわに付ける帯ラベルを今迄は外注しておりましたが今後は自主印刷が出来るのでコスト削減が出来ます。目の不自由な方の為の点字名刺カラー印刷なども出来ます。

また、移転に伴ない、広報活動にも力を入れ、ホームページの作成、広報誌は年1回から3回発行予定、おこわ・お弁当の宣伝パンフとチラシ、お弁当アンケート等を考え担当も決まりました。

現在の施設に比べ広くなる為、職員配置を考え増員し大変な面も有りますが、さら成る発展を目指して参りますので今後ともFC目黒にご指導・ご支援を宜しくお願い申し上げます。



フードコミュニティ目黒は、障害者就労移行支援事業、障害者就労継続支援事業(B)の運営を予定しているNPO法人です。

広報誌名「米創庵」は、フードコミュニティ目黒オリジナル商品のブランド名です。

現在の商品については4ページをご覧ください。

☆ 賛助会員募集 ☆

☆FC目黒では賛助会員を募集しております。
☆会費は年度ごとに一口5000円からです。
☆私たちFC目黒は皆さまに支えていただきながら歩んでまいりたいと思っています。
☆ぜひ、ご協力のほどお願いいたします。

副理事長 牛島裕子

振り込み先

郵便振替口座00140-9-706649
特定非営利活動法人フードコミュニティ目黒

この1年を振り返って

副理事長 牛島裕子

FC目黒も3年を過ぎようとしております。年々、活動の内容も充実してきています。1年を通じて目黒区内で開かれるイベントへは、FC目黒を覚えていただけるよう、出来る限り出店をしてきました。各工房、作業所のお祭りはもちろん「ふえすた環境」「目黒区商工まつり」「目黒区民まつり」「林試の森フェスタ」「消費生活展」、教会のバザーなどへも積極的に出店いたしました。それぞれのイベントでたくさんの方々と接し、「いつも買ってます」「さっき買って食べたらいいしかったので、もう1つ買いたい」などのお言葉をいただき、リピーターが増えていると実感しました。

またイベント参加の他に利用者が製品の売られている様子を見学しに取り扱いいただいているスーパーに出かけたり、12施設交流会へ参加、また1泊旅行にも出かけました。こうした活動を通して楽しさだけではなく団体行動、公共の場におけるマナーを学ぶことができました。

新施設への移転は目前にせまっております。祐天寺のお店の近隣のみなさまにもおなじみとなり、お赤飯やお萩、お弁当を買いに来て下さる方々もふえ、移転することはうれしくもあり、お客さまの事を思うとさびしくもあります。

販売を通してお赤飯・山菜おこわ・お萩・お弁当の美味しさを知っていただくとともにFC目黒本来の活動をご理解いただけますよう、そして今後のさらなる発展に向け、より一層「努力とチャレンジ」を心がけていきます。

区役所での販売
と宿泊研修



「12施設交流会」報告

支援員 横山里美

12月4日（金）に区内の障害福祉課所轄の公立・民間の成人障害者施設利用者が一同に会して交流し相互理解を深めるとともに、職員の交流理解を深めることを目的とした12施設交流会が行われました。FC目黒からは風邪のため1名休みで8名の利用者さん、3名の支援員が参加しました。

午前中は、全体交流会で「おどるポンポコリン」、クリスマスソング、マイケル・ジャクソンの「スリラー」を皆で踊りました。「スリラー」は、各施設1名仮装して踊る姿もあり、その場がとても盛り上がりました。



午後は、ボーリングとミニ運動会にわかれて行い、FC目黒はボーリングに参加しました。ゲーム形式で、7チームにわかれてチームごとの合計点数で争いました。どのチームも多くのピンを倒すため真剣に取り組みました。年に一度の大きなイベントでみんな楽しく参加しました。

オリジナル商品のご案内

メニュー&料理担当支援員 黒澤孝伸

現在、『米創庵』のオリジナル商品は、お弁当（白米、お赤飯、山菜おこわの3種）、お赤飯、山菜おこわ、お萩です。厳選した材料を使い、作り方にもこだわっています。

ザ・ガーデン（白金店、目黒店、自由が丘店）と丸正大橋店にて山菜おこわを好評販売中です。お萩は目黒区役所にて月曜のみ販売しております。



- ★ひとめぼれ100%白米弁当 500円
- ★赤飯弁当 600円
- ★山菜おこわ弁当 600円

米は、宮城県産の環境保全米（減農薬）「ひとめぼれ」100%を使用しています。

主菜は、肉または魚をメインに和洋折衷バラエティ豊かな味付けです。

ご飯は、お好みに応じて赤飯、山菜おこわに変更できます。



- ★赤飯 400円

米は、宮城県産こがねもち米100%を使用しています。

また、厳選したささげ豆の色液にもち米を一昼夜漬け込み炊き上げましたので、自然な赤飯色です。

添付の国産黒胡麻と伯方の焼き塩と一緒にすると、なおおいしく召し上がれます。もちろん無添加・無着色です。



- ★山菜おこわ 400円

米は、赤飯同様に宮城県産こがねもち米です。

厳選した国産の山菜を使用し、昆布・かつお節でとっただし汁に漬け込み、もち米と一緒に炊き上げています。白醤油を使用していますので、ほのかな色合いが山菜を引き立てます。

国産金胡麻付きで、無添加・無着色です。



- ★お萩（5個入り）400円

宮城県産こがねもち米100%と北海道余市産の豆で作ったお萩です。口当たりが残るよう粒入り餡子で、もち米も試行錯誤の末、食感が残るようにしました。食べやすい一口サイズですので、女性の方に人気です。無添加・無着色です。

*イベント、サークル、会議等の各種のお集まりに、ご予算に合わせてお弁当・赤飯・山菜おこわをお作り致します。

ご注文は、電話03-5768-0707
フードコミュニティ目黒で承ります。

